

事業番号	290
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	管渠等維持管理事業							担当部	上下水道部	
	会計区分	下水道事業特別会計				事業類型	法定受託系	担当課	下水道課		
	事業期間	平成12年度以前 ~ 平成30年度以降				担当係	建設係				
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		25 汚水・排水処理		2 老朽管などの更新を進める				
		副目的									
	予算区分	款	1	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	下水道法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	79 %		委託	21 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	管路調査により判明した不良箇所の補修を行なうことにより、地下水の浸入を減らし汚水処理費用の軽減を図る。また、管路の破損による管路閉塞や道路陥没を防ぎ、市民の方々が安全に安心して下水道利用、道路利用ができるようにする。									
	内容 (手段)	<p>マンホールから下水道管の中に調査用のテレビカメラを通し、損傷箇所の調査をし、損傷箇所はできる限り道路を掘りかえずことなく、マンホールから補修する機械や材料を入れ管の中で補修を行った。 事務従事職員は、管路調査委託の設計・監督及び管路補修工事の設計・監督業務を行っている。</p> <p>【直接経費の内訳】          下水道管路調査委託料(16,443千円)          下水道管路清掃委託料(6,085千円)          下水道管路補修等工事費(71,315千円)          修繕料(2,009千円)          人夫賃、手数料、資材購入費など(3,113千円)</p>									
受益者負担	無										

コスト			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
	費用	直接経費		千円	99,168	101,950	98,965	107,139
		正職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00	2.00
			人件費	千円	10,638	10,638	10,638	10,638
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	109,806	112,588	109,603	117,777
		対前年比		%		102.5	97.3	107.4
	財源	一般財源		千円	109,806	112,588	109,603	117,777
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

業       績	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	管路調査	m	目標	17,400	17,000	14,200	14,400
			実績	16,819	17,626	12,117	
	管路補修	箇所	目標	700	700	700	700
			実績	679	629	418	
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	不明水率	%	目標	—	—	—	—
			実績	16	16	11	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	計画的に進めている管路調査・管路補修を実施した結果、不明水率が5ポイント下が り効果を確認することが出来た。しかしながら、市内には老朽化した下水道施設が 多々あり今後も計画的に維持管理をしていく必要がある。		
		事業実施にお ける課題等	年々下水道整備区域を拡大していくなか、下水道施設の維持管理範囲は増大して行 く。維持管理に必要なコストを下げるべく新たな調査・補修方法を模索していく必要が あるとともにまもなく耐用年数を向える施設の長寿命化などを検討する必要がある。		
		事業を縮小・ 廃止したとき の影響	下水道施設は、道路陥没や管路閉塞などを未然に防ぐため定期的な調査補修が不 可欠な施設である。また地中に埋設された施設がほとんどであり通常目視による確 認が出来ない。事故が起きれば市民生活に直接影響するため調査補修の規模の縮 小・廃止は考えられない。		
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持		
		判定理由	施設の増大、経年変化により既存の下水道維持管理は必要不可欠である。		
		改善案等	コスト削減を図り出来る限りの調査補修を実施する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。